



2021年9月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 ナレッジスイート株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3999 URL https://ksj.co.jp
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 稲葉 雄一
 常務取締役執行役員コ
 問合せ先責任者（役職名） 一ポレートビジネスユ（氏名） 柳沢 貴志（TEL）03-5405-8120
 ニット長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績（2020年10月1日～2020年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利 益		四半期包括利益合 計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	559	3.0	△78	—	△80	—	△79	—	△79	—
2020年9月期第1四半期	543	0.0	70	119.8	68	136.8	78	556.9	84	608.9

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	△15.65	△15.65
2020年9月期第1四半期	15.60	15.35

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	2,636	914	914	34.7
2020年9月期	2,515	993	993	39.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—				
2021年9月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業収益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,408	13.7	31	—	26	—	10	—	1.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期1Q	5,105,200株	2020年9月期	5,105,200株
② 期末自己株式数	2021年9月期1Q	143株	2020年9月期	143株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期1Q	5,105,057株	2020年9月期1Q	5,041,987株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(IFRSの適用)

当社は、2020年9月期第1四半期連結会計期間から国際財務報告基準(IFRS)を適用しております。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は2021年2月12日(金)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済活動の停滞により依然として不透明な状態が継続しております。

当社グループを取り巻く情報サービス市場は、働き方改革関連法案の施行に伴う「働き方改革」、及び「デジタルトランスフォーメーション(DX)」への機運の高まりから、企業の情報システム需要、IT人材不足による先端IT人材ニーズの広がりに加え、中堅・中小企業における生産性向上とサブスクリプションからなるクラウドサービス需要が引き続き拡大しております。

このような状況下で、当社グループは「Change The Business～中小企業のビジネスを変え、日本経済の活性化に貢献する～」を経営理念に、「脳力をフル活用できる世界へ」を企業ビジョンに掲げ、中小企業のDX加速に向けた支援事業へ経営リソースを集中し、積極的な投資を推進してまいりました。

具体的には、売上拡大への貢献を可能にするSFA/CRMクラウドサービス「Knowledge Suite(ナレッジスイート)」を中心としたサブスクリプションビジネスの拡大のため、将来の売上拡大を見据えた営業増員、プロモーションの強化、カスタマーサクセスへ導く導入コンサルティングを通じて、企業のDXの推進を積極的に提案してまいりました。さらに、中長期的な収益の源泉となる先進技術を活用した次世代「Knowledge Suite(ナレッジスイート)」基盤の開発を推進してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上収益は559,864千円(前年同期比3.0%増)、営業損失は78,497千円(前年同期は営業利益70,415千円)、税引前四半期損失は80,882千円(前年同期は税引前四半期利益68,515千円)、親会社の所有者に帰属する四半期損失79,884千円(前年同期は親会社の所有者に帰属する四半期利益78,661千円)となりました。

なお、当社グループは、中堅・中小企業のDXを支援する事業へ注力するため、2020年10月1日よりDX事業へ経営資源を集中する組織体制へ変更したことに伴い、2021年9月期より報告セグメントを変更しております。

従来当社グループは、「クラウドソリューション」及び「システムエンジニアリング」の2つを報告セグメントとしてきましたが、当第1四半期連結会計期間より「クラウドソリューション」事業のうち、今後注力する自社「SaaS」及び導入支援等の「カスタマーサクセス」に絞った「DX(デジタルトランスフォーメーション)事業」とし、それ以外のマーケティング/開発保守事業部分と従来の「システムエンジニアリング」事業を統合し、「BPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)」事業に変更しております。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① DX事業

当事業につきましては、営業活動の可視化、営業活動の自動化を目指す法人向けマルチテナント型として開発した統合型営業・マーケティング支援SaaS(クラウドサービス)の開発・販売及び顧客企業のカスタマーサクセスへ導く導入支援サービスを展開しております。

当第1四半期連結会計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大によるオフラインでの展示会及びセミナーの縮小または延期が発生しましたが、感染症対策をきっかけとした中堅・中小企業の事業活動のオンライン化及びDX化のニーズの高まりを背景に、オンラインセミナー・商談の積極的な実施に加え、全国に広げた販売パートナーによる拡販等、オンラインによるリード(見込み客)獲得から受注までのプロセスを強化し、月平均2,000件以上のリード(見込み客)獲得を維持しつつ、受注社数の最大化を図ってまいりました。また、当社SaaS導入企業に対して、カスタマーサクセスを目的とした初期設定、操作方法の教育及びデータ項目の設計支援等の導入時の運用定着支援、及び顧客企業のSaaS連携課題を解決する目的として、システム間連携開発支援も強化いたしました。前期末に実施したテレビ広告は一部地域に継続展開いたしました。

これらの結果、売上収益は205,042千円(前年同期比32.9%増)、セグメント損失は48,043千円(前年同期はセグメント利益25,874千円)となりました。

② BPO事業

BPO事業は、主に企業のマーケティング課題・システム課題を解決支援するWEBマーケティング支援、各種システムの受託開発・保守及び顧客企業へのシステムエンジニアリング（IT人材リソース）を提供するビジネスプロセスアウトソーシング事業を展開しております。

当第1四半期連結会計期間においては、感染症拡大の影響によって見送られていた派遣先プロジェクトが再開し、エンジニアの稼働率、マーケティング/開発保守案件が回復いたしました。

これらの結果、売上収益は379,631千円(前年同期比2.7%減)、セグメント利益は51,143千円(前年同期比43.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は1,182,269千円となり、前連結会計年度末に比べ82,824千円増加しました。これは主に、現金及び現金同等物の増加37,252千円、営業債権及びその他の債権の増加32,127千円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の非流動資産は1,454,652千円となり、前連結会計年度末に比べ38,586千円増加しました。これは主に、無形資産の増加66,961千円、使用権資産の減少27,489千円によるものであります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の資産合計は2,636,922千円となり、前連結会計年度末に比べ121,410千円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は1,014,177千円となり、前連結会計年度末に比べ100,530千円増加しました。これは主に、営業債務およびその他の債務の減少86,421千円、有利子負債の増加175,102千円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の非流動負債は708,237千円となり、前連結会計年度末に比べ99,463千円増加しました。これは主に、有利子負債の増加128,250千円、リース負債の減少28,313千円によるものであります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は1,722,415千円となり、前連結会計年度末に比べ199,994千円増加しました。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末の資本は914,507千円となり、前連結会計年度末に比べ78,583千円減少しました。これは主に、利益剰余金の減少79,884千円によるものであります。

これらの結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末に比べ4.8ポイント減少し、34.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期通期の連結業績予想につきましては、2020年11月13日に公表いたしました「2020年9月期 決算短信〔IFRS〕(連結) 1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

なお、連結業績予想は現時点において入手可能は情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	748,860	786,112
営業債権及びその他の債権	299,348	331,475
棚卸資産	449	770
未収法人所得税等	13,069	10,632
その他の流動資産	37,717	53,278
流動資産合計	1,099,445	1,182,269
非流動資産		
有形固定資産	61,494	60,608
使用権資産	383,857	356,368
のれん	328,206	328,206
無形資産	440,602	507,563
その他の金融資産	184,219	184,219
繰延税金資産	17,686	17,686
非流動資産合計	1,416,066	1,454,652
資産合計	2,515,511	2,636,922

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	250,134	163,713
契約負債	10,626	11,555
有利子負債	433,616	608,718
リース負債	117,484	117,210
その他の流動負債	101,785	112,980
流動負債合計	913,646	1,014,177
非流動負債		
有利子負債	304,050	432,300
リース負債	256,228	227,914
引当金	36,359	36,394
繰延税金負債	12,136	11,628
非流動負債合計	608,774	708,237
負債合計	1,522,420	1,722,415
資本		
資本金	681,106	681,106
資本剰余金	647,594	648,894
利益剰余金	△338,102	△417,986
自己株式	△192	△192
その他の資本の構成要素	2,685	2,685
親会社の所有者に帰属する持分合計	993,091	914,507
資本合計	993,091	914,507
負債及び資本合計	2,515,511	2,636,922

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上収益	543,350	559,864
売上原価	333,566	352,839
売上総利益	209,784	207,024
販売費及び一般管理費	189,922	285,102
その他の収益	50,585	136
その他の費用	31	556
営業利益 (△は損失)	70,415	△78,497
金融費用	1,900	2,384
税引前四半期利益 (△は損失)	68,515	△80,882
法人所得税費用	△10,145	△998
四半期利益 (△は損失)	78,661	△79,884
四半期利益 (△は損失) の帰属		
親会社の所有者	78,661	△79,884
四半期利益 (△は損失)	78,661	△79,884
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	15.60	△15.65
希薄化後1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	15.35	△15.65

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期利益 (△損失)	78,661	△79,884
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融商品	6,225	—
その他の包括利益合計	6,225	—
四半期包括利益	84,887	△79,884
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	84,887	△79,884
四半期包括利益	84,887	△79,884

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
2019年10月1日残高	664,174	652,558	△335,888	△192	△438	980,213	980,213
四半期利益(△損失)	—	—	78,661	—	—	78,661	78,661
その他の包括利益	—	—	—	—	6,225	6,225	6,225
四半期包括利益合計	—	—	78,661	—	6,225	84,887	84,887
新株の発行	1,950	1,950	—	—	—	3,900	3,900
株式報酬取引	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等 合計	1,950	1,950	—	—	—	3,900	3,900
2019年12月31日残高	666,124	654,508	△257,226	△192	5,787	1,069,000	1,069,000

当第1四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
2020年10月1日残高	681,106	647,594	△338,102	△192	2,685	993,091	993,091
四半期利益(△損失)	—	—	△79,884	—	—	△79,884	△79,884
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	△79,884	—	—	△79,884	△79,884
新株の発行	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	1,300	—	—	—	1,300	1,300
所有者との取引額等 合計	—	1,300	—	—	—	1,300	1,300
2020年12月31日残高	681,106	648,894	△417,986	△192	2,685	914,507	914,507

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△は損失)	68,515	△80,882
減価償却費及び償却費	28,891	51,417
金融費用	1,900	2,384
投資有価証券売却益	△42,000	—
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,746	△320
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	30,443	△57,805
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△47,635	△60,743
契約負債の増減額(△は減少)	△478	928
その他	△4,354	△1,360
小計	32,536	△146,381
利息の支払額	△3,074	△2,345
法人所得税の支払額	△5,413	—
法人所得税の還付額	—	2,690
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,049	△146,035
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,713	△27,722
有形固定資産の売却による収入	—	25,678
無形資産の取得による支出	△29,584	△88,328
投資有価証券の取得による支出	△10,000	—
投資有価証券の売却による収入	60,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	18,702	△90,372
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	200,000
長期借入れによる収入	—	150,000
長期借入金の返済による支出	△46,648	△46,648
リース負債の返済による支出	△14,205	△29,691
株式の発行による収入	3,900	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△56,953	273,660
現金及び現金同等物の増減額	△14,201	37,252
現金及び現金同等物の期首残高	993,599	748,860
現金及び現金同等物の四半期末残高	979,398	786,112

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、経営組織の形態、製品・サービスの特性及び販売市場の類似性に基づき、複数の事業セグメントを集約した上で、「DX事業」及び「BPO事業」の2つを報告セグメントとしております。

「DX事業」は、営業活動の可視化、営業活動の自動化を目指す法人向けマルチテナント型クラウドサービスとして開発した統合型営業・マーケティング支援SaaSの開発・販売及び顧客企業のカスタマーサクセスへ導く導入支援サービスを提供することで、中堅・中小企業のDXを支援する事業を展開しております。

「BPO事業」は、主に企業のマーケティング課題・システム課題を解決支援するWEBマーケティング支援、各種システムの受託開発・保守及び顧客企業へのシステムエンジニアリング（IT人材リソース）を提供するビジネスプロセスアウトソーシング事業を展開しております。

(2) 報告セグメントの概要

当社グループは、中堅・中小企業の「デジタルトランスフォーメーション（DX）」を支援するDX事業へ注力するため、2020年10月1日よりDX事業へ経営資源を集中する組織体制へ変更したことに伴い、2021年9月期より報告セグメントを変更しております。

従来当社グループは、「クラウドソリューション」及び「システムエンジニアリング」の2つを報告セグメントとしてきましたが、当第1四半期連結会計期間より「クラウドソリューション」事業のうち、今後注力する自社「SaaS」及び導入支援等の「カスタマーサクセス」に絞った「DX事業」とし、それ以外のマーケティング/開発保守事業部分と従来の「システムエンジニアリング」事業を統合し、「BPO事業」に変更しております。

なお、前第1四半期累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(3) 報告セグメントの収益及び業績に関する情報

報告セグメントの会計方針は、「3. 重要な会計方針」における記載と概ね同一です。

報告セグメントの収益及び業績に関する情報は、次のとおりです。

前第1四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

	DX事業	BPO事業	合計	調整額	(単位：千円)
					要約四半期 連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客からの売上収益	153,280	390,070	543,350	—	543,350
セグメント間の売上収益	982	—	982	△982	—
合計	154,263	390,070	544,333	△982	543,350
セグメント利益 (△は損失)	25,874	90,347	116,222	△45,806	70,415
金融収益	—	—	—	—	—
金融費用	—	—	—	—	1,900
税引前四半期利益 (△は損失)	—	—	—	—	68,515

当第1四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)

	DX事業	BPO事業	合計	調整額	(単位：千円)
					要約四半期 連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客からの売上収益	204,757	355,106	559,864	—	559,864
セグメント間の売上収益	285	24,524	24,809	△24,809	—
合計	205,042	379,631	584,674	△24,809	559,864
セグメント利益 (△は損失)	△48,043	51,143	3,100	△81,598	△78,497
金融収益	—	—	—	—	—
金融費用	—	—	—	—	2,384
税引前四半期利益 (△は損失)	—	—	—	—	△80,882

(注) 1. セグメント間の取引は市場実勢価格に基づいております。

2. セグメント利益 (△は損失) の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。

3. セグメント利益 (△は損失) は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。